

日本素材物性学会 平成28年度（第26回）年会次第

日 時：平成28年6月23日(木)

会 場：秋田ビューホテル (Tel 018-832-1111)

- 研究発表会（午前の部） A ルーム 8:55~11:50
- 研究発表会（午後の部） A ルーム 13:00~15:40
- 役員会 12:00~13:00
- 総会ならびに山崎賞授賞式 15:50~16:20
- 特別講演 16:30~17:20

講師：吉原 信也 氏（TDK株式会社常務執行役員 生産本部長）

演題：TDKの事業成長戦略とモノづくり革新

司会：柴山 敦(日本素材物性学会会長)

- 懇親会ならびに優秀論文発表賞授賞式 17:30~19:30

研究発表プログラム

講演時間（講演 11 分、質疑 3 分）

○印は講演者

● A ルーム(午前の部)

座長 高橋 弘樹(秋田大学大学院理工学研究科) 8:55~10:25

- A-1 Sn ウィスカ発生成長挙動に及ぼす冷却速度及び固相分離の影響 ○榊田智実¹、佐々木淳平¹、渡辺雄大²、千田将博²、久保内達郎²、神谷修¹(¹秋田大、²日本ケミコン(株))
- A-2 もみ殻由来活性炭のリチウムイオンキャパシタ正極材料への適応性 ○熊谷誠治、羽富正起(秋田大)
- A-3 もみ殻由来 C/SiO_x 活物質のリチウムイオン挿入脱離特性 ○藤原宏晃、熊谷誠治(秋田大)
- A-4 イオン液体とメソポーラス活性炭の界面に形成される電気二重層容量 ○羽富正起、熊谷誠治(秋田大)
- A-5 水素センサーおよび酸素センサーを用いたFe-Cr合金の水蒸気酸化挙動の解明 ○赤堀昂太、福本倫久、原基、金児紘征(秋田大院理工学)
- A-6 多電子人工原子の電子構造計算 ○上田学¹、小林陽介¹、田森琢陽²、齋藤太郎³(¹秋田工専、²豊橋技科大、³長岡技科大)

座長 熊谷 誠治(秋田大学大学院理工学研究科) 10:35~11:50

- A-7 電気化学還元したPt酸化物のメタノール酸化活性とCOの吸着・脱離挙動 ○高橋弘樹¹、佐藤雅人²、田口正美¹(¹秋田大院理工学、²株安部日鋼工業)
- A-8 Pt酸化物によるCO₂の電解還元 ○大久保敬祐¹、高橋弘樹²、田口正美²(¹秋田大院工学資源、²秋田大院理工学)

- | | | |
|------|--|--|
| A-9 | 液相法により調製した Ru 酸化物粉末を用いた Pb 基不溶性アノードの酸素過電圧 | ○田口正美 ¹ 、高橋弘樹 ¹ 、小澤裕二 ² 、鈴木一成 ³ (¹ 秋田大院理工学、 ² 株コベルコマテリアル鋼管、 ³ DOWA メタルマイン(株)) |
| A-10 | HCa ₂ Nb ₃ O ₁₀ と長鎖アルキル基を有するオニウム塩を出発原料とした触媒調製と one-pot 反応 | ○小笠原正剛 ¹ 、伴拓人 ² 、加藤純雄 ¹ (¹ 秋田大院理工学、 ² 秋田大院工学資源) |
| A-11 | イチジク由来 Rubber Elongation Factor のクローニングとアミロイド形成の観察 | ○横田早希 ¹ 、鈴木友里奈 ² 、斎藤圭佑 ² 、北島佐紀人 ³ 、大谷典正 ⁴ 、後藤猛 ¹ (¹ 秋田大院理工学、 ² 秋田大院工学資源、 ³ 京都工繊大応用生物、 ⁴ 山形大理) |

● A ルーム(午後の部)

座長 小笠原 正剛(秋田大学大学院理工学研究科) 13:00~14:15

- | | | |
|------|---|--|
| A-12 | Hetero-alkali metallic supramolecular assemblies based on <i>p</i> -sulfonatothiacalix[4]arene | ○Kunda Uma Maheswara Rao, Manabu Yamada, Fumio Hamada (Akita Univ.) |
| A-13 | Selective Pd(II) recovery from leach liquors of automotive catalysts using Amberlite XAD-7 impregnated thiacalix[<i>n</i>]arene derivatives | ○Muniyappan Rajiv Gandhi, Manabu Yamada, Atsushi Shibayama, Fumio Hamada (Akita Univ.) |
| A-14 | 芳香族アミン化合物を用いたロジウムの選択分離回収 | ○山川澄人、松本和也、寺境光俊(秋田大院理工学) |
| A-15 | Recovery and upgrading copper from low grade copper porphyry deposit of Saindak project, Balochistan, Pakistan. | ○Zaheer Ahmed, Batnasan Altansukh, Kazutoshi Haga, Atsushi Shibayama (Akita Univ.) |
| A-16 | 砕石脱水ケーキを用いた球形骨材の作製に関する研究 | ○一瀬裕司、里見知昭、高橋弘(東北大院環境科学) |

座長 福田 誠(秋田大学大学院理工学研究科) 14:25~15:40

- | | | |
|------|--------------------------------------|--|
| A-17 | 蒸気圧破碎薬剤の弾性波探査用起振源への応用 | ○村田健司(日本工機(株)) |
| A-18 | 河川堤防における植生の成長と色情報変化の傾向に関する検討 | ○遠藤賢太 ¹ 、石沢千佳子 ¹ 、景山陽一 ¹ 、西田眞 ¹ 、七尾重亮 ² 、岩花賢 ² 、長岐孝司 ² (¹ 秋田大院、 ² 国土交通省) |
| A-19 | 肌領域における白飛びの肌色補正手法の開発 | ○佐藤翔太、景山陽一、西田眞(秋田大院) |
| A-20 | 切り替え表示を用いて LCD 上に出力する色の推定とちらつきに関する検討 | ○北野将伍、石沢千佳子、景山陽一、西田眞(秋田大院) |
| A-21 | 平板中を伝搬する弾性波の可視化 | ○保坂儒人 ¹ 、今野和彦 ² (¹ 秋田大院工学資源、 ² 秋田大院理工学) |